

from the world

世界の国から

# モロッコ王国

Kingdom of Morocco



モハメド・アレフ・ハッサニ氏

カサブランカ航空フリーゾーンMidparc 局長

Mr. Mohamed Aref HASSANI

Managing Director

Midparc Casablanca Free Zone

首都	ラバト
面積	44.6万平方キロメートル (日本の約1.2倍、西サハラ除く)
人口	3,528万人(2016年、世銀)
政体	立憲君主制
元首	モハメッド6世国王
言語	アラビア語(公用語)、 ベルベル語(公用語)、フランス語
通貨	モロッコ・ディルハム(MAD)



## 航空産業を中心に輸出志向の経済発展を目指す

### 注目が高まるモロッコ航空産業

北アフリカの北西部に位置するモロッコは、欧州とアフリカ双方へのアクセスに有利な立地を生かし、国家戦略として航空産業の拡大に力を入れています。政府は2016年にボーイング社と協定を結び、モロッコ国内の下請け企業120社による、年間10億米ドル規模のサプライチェーンである「ボーイング・エコシステム」の整備を進めています。

私は1997年にUNIDO東京事務所のプログラムで初めて来日してから20年にわたり、様々な立場で日本企業の投資誘致に携わってきました。今回はモロッコの航空産業の最新情報やビジネス機会を日本企業にお伝えするために来日しました。滞在中はモロッコ航空産業に関心を持つ日本企業や関連団体と個別にお会いしたほか、東京でセミナーを開きました。セミナーには31社から50名以上と予想をはるかに上回る参加があり、日本企業の関心の高さに驚きました。



カサブランカの街並み

### ミッドパーク・フリーゾーン概要

ミッドパーク・フリーゾーン(MIDPARC)は、航空産業を優先分野に位置づけたフリーゾーンとして、2013年にカサブランカ国際空港に隣接する場所に開設されました。ミッドパーク・フリーゾーンでは、入居を希望する企業に対してグローバルで完成された環境を提供しています。ワンストップサービスがあり、モロッコ政府による投資額の15～20%の間で直接的な補助金や助成金があるほか、法人税が最初の5年間について完全に無税でその後20年間は8.75%にまで減税になるなど、様々な税制優遇策が用意されています。

また、航空産業に特化した職業訓練所・トレーニングセンターと密に連携しており、モロッコ政府の費用負担による職業訓練制度があるなど、人材確保に適しているのも強みです。その他、どの通貨でも銀行口座を開設できるなど海外投資家向けの様々な優遇策が用意されています。直近では、カナダ・ボンバルディア社の航空部品組み立て工場や、Eaton、STELIA、Aircelle社など航空機部品および電子部品メーカー、エアバス関連会社の製造・物流拠点などの開設が進んでいます。



ミッドパーク・フリーゾーン

### 日本とのビジネスに期待

世界の航空産業は、今後20年間にわたり需要がますます伸びていくと見られていますが、市場のシェアを確保し続けるためにはコストの削減が重要な要素であるというのが、関係者の共通認識です。その点、モロッコは高品質を維持しながら価格競争力のあるコストを提供できる国です。世界の市場を視野に入れて今後のビジネスを考えていくうえで、モロッコは良いパートナーになると思います。

現在、自動車部品関連をはじめとする約60の日本企業がすでにモロッコに進出し成功を収めています。日本企業は現地での雇用をビジネスの中核ととらえて、長きにわたりモロッコの産業発展に貢献して下さっています。また、モロッコの文化・伝統やルールをととても尊重して下さり大変嬉しく思っています。ぜひ多くの日本企業にモロッコへ来て頂きたいと思っています。